

# 四季の風

2015  
秋号  
Vol.42

## 仁風園祭



11月21日、平成27年度仁風園祭を開催しました。今年は何と大野城市市長、井本宗司様にご臨席を賜り、仁風園祭を大いに盛り上げて頂きました。また、たくさんの方にお越し頂き、地域の方々とも交流を深められる良い機会となりました。

出し物ボランティアも例年通り、「ひょっとこ踊り博多愛好会」の皆さん、「志免飛龍太鼓」の皆さんに加え、今年は初めて吹奏楽「ウインドアンサンブルプログレス」の皆さんにもご参加頂き、素晴らしい演奏を披露して頂きました。プログラムの内容も年々、少しずつですが盛大になってきています。

露店には一昨年に出店して頂いていた「はまゆうワークセンター」さんに、仁風園祭の為だけに特別サイズ・価格の「手作り豚まん」等を、昨年もご出店頂いた「みぎわ工房」さんには手作りのケーキ等を出店して頂きました。皆さん「おいしい！」と笑みをこぼしていました。

仁風園祭に関わって下さった皆様のおかげで素敵な仁風園祭となりました。本当にありがとうございました！

# バスハイク～八女郡星野村～



10月30日、八女市星野村にバスハイクに行ってきました。1週間前から毎日天気予報を確認していましたが、当日は曇り空ではあったものの、雨が降ることはなく、担当職員はホッと一安心。今回は、「八女と言えばお茶!」ということで、抹茶碾きと和菓子作りを体験してきました。

和菓子は先生に教えて頂きながら作りましたが、葉っぱの形を作るつもりが餃子のようになってしまうたり・・・、生地であんこを包むつもりが、一緒に練り込んで丸めてしまったり・・・と四苦八苦しましたが、なんとかお手本に近い物が完成!

抹茶碾きは、約1時間石臼を回し続ける根気と体力が必要な作業でした。初めは自信满满だった利用者さんも途中で力尽きて下を向いてしまうほど・・・。職員もお手伝いに入りましたが、汗が止まらず限界寸前(笑)でも、最後までグループの皆で力を合わせて頑張り、きれいな抹茶粉を作ることができました! 碾きたてのお抹茶は、苦勞した甲斐もあり、おいしい一杯となりました。



## 文化鑑賞

秋も深まりかけた10月の終わり、大野城市のまどかぴあホールで行われた佐藤陽子 ヴァイオリンコンサートに行ってきました。

日頃、生の音楽に触れる機会が少なく、今回は世界的に有名なヴァイオリン奏者とあって楽しみに客席につきました。

会場は満席なのに水を打ったような静けさの中、ヴァイオリン一本とは思えない迫力のある演奏が続きアツという間に時間が過ぎていきました。

ヴァイオリンの音色の余韻を残し、次の機会を楽しみに帰途に着きました。



## 地区運動会

10月4日に乙金東コミュニティセンターで開催された「乙金東区運動会」に今年も参加させて頂きました。8名の利用者さんが、パン食い競争や玉入れなどに参加させて頂き、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



## 地区文化祭

11月15日、大野城東地区コミュニティ文化祭に参加しました。書道クラブ、工芸クラブの作品展示と農作物等の販売を行いました。農作物の販売は毎年楽しみにされている地域の方も多く、イノシシの被害でさつま芋の販売が出来ない事に、残念との声があがっていました。



利用者さんも沢山の展示作品を見学し、バザーではおはぎやクッキーを購入し、『文化の秋』『食欲の秋』を体感した1日となりました。

## 室内作業



仁風園では、社会性、協調性、持久性を養い、社会に適應できる能力の取得と施設生活の充実、社会復帰の一助を目的として、色々な作業を行なっています。前回の農耕班に続き、今回は室内作業について紹介します。

仁風園作業班の中で最も人数の多い室内班には28名が在籍し、シャボン玉の袋詰めや菓子箱の組み立てを中心に取り組んでいます。

季節や世の中の人々の動きにより、作る量にも変動がありますが、忙しい時は1日に2000組以上の箱を組み立てる日もあります。そんな日の作業終了後はクタクタになりますが、暇な時より忙しい時の方が 皆さんの表情も生き生きしているようです。

時々、『このシャボン玉はどんな子どもさんが遊ぶのかな？』『こんなにたくさんのお饅頭が売れて行くなんて一体誰の胃袋に！？』と想ったりしながら頑張っている毎日です。



## 苦情解決制度

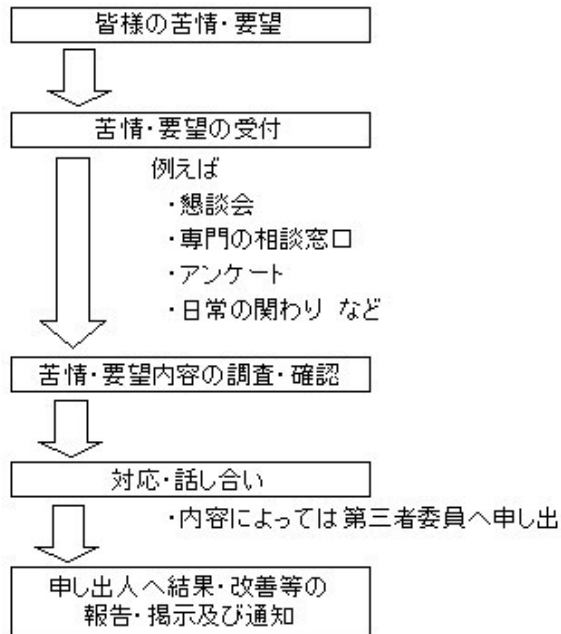
福祉サービスには苦情解決制度があります。当施設においてもサービスの提供や施設生活における苦情・要望を随時受け付けております。利用者の皆様にご満足頂けるサービスを提供できるよう、職員一同、日々全力を尽くしております。

下記のグラフは平成26年度の集計結果です。例年同様、利用者間の関係についての意見が最も多い結果となりました。この要因として利用者個々人の習慣の違いから指摘に至ったと考えられます。

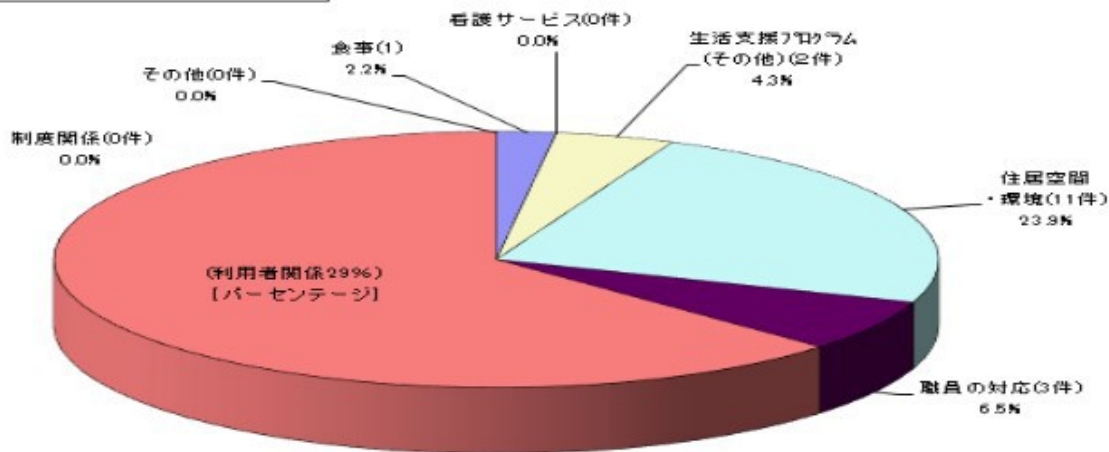
今後も、利用者様一人一人が過ごしやすい環境作りを目指して、日常生活や懇談会で得られたご意見を基に改善を図りながら、サービスの質の向上を図っていきたくて考えております。

解決・改善対応 100%  
第三者委員対応 0件

### 苦情・要望解決までの流れ



### 苦情・要望受付割合



### 編集後記

ご存知でしたか？

2004年秋に創刊した広報誌『四季の風』ですが、気がつけば創刊11年目に突入しています！！

試行錯誤で始まった記念すべき第1号を読み返し、若かりし頃の利用者さん（私もですが）、今は別のところで生活していらっしゃる、当時の利用者さん方を懐かしみ、感慨深いものがありました。

今後もより一層の読みやすさ、内容の向上を図っていきたくて思います。ご意見・ご感想等あれば、お聞かせいただけると幸いです。

『四季の風』編集委員一同



社会福祉法人

仁風会  
救護施設 仁風園

〒816-0901 福岡県大野城市乙金東2丁目26-5  
TEL 092-503-2004 FAX 092-503-2766  
<http://www.otogane.or.jp/jinpu/index.html>